

(別紙)

八戸市A I・D X人材育成+A Iプラットフォーム構築業務委託仕様書

1 件名

八戸市A I・D X人材育成+A Iプラットフォーム構築業務委託

2 事業の目標

A Iの急速な普及とD Xの進展に対応するため、市職員および地域住民・企業等を対象とした実践的な研修を行う。また、研修を通じて得た知見を反映させ、A Iプラットフォームの構築に向け、A IやR P A等の技術検証・導入支援を行う。プログラミング等の専門的な知識を持たない市職員・企業・市民が自ら業務効率化等のシステムを作成・改修できる市民開発の定着を図り、地域全体のデジタル自走力を高めるものとする。

A I等の先端技術の特性を理解し、安全な活用方法(セキュリティ・ガバナンス)や業務・施策への具体的な適用能力を習得・実装することで、地域全体のデジタルスキルの底上げと業務効率化を促進することを目的とする。

3 対象

区分	対象者	想定人数
(1) A I・D Xデジタル人材育成研修	八戸市職員、連携中枢都市圏構成町村職員、地元企業従事者、市民、学生(市内大学、専門学校等)	計60名程度
(2) A Iプラットフォーム構築	市職員(実際の業務への適用を検討する担当者)、デジタルイノベーションチーム(庁内公募により選抜された職員)、地域エンジニア(混成チーム)	計20名程度

4 契約期間

契約締結の日から令和9年3月31日までとする。

5 委託業務の内容

- (1) 研修実施計画(タイムテーブル)の策定
- (2) 研修教材の用意(研修用テキストおよび演習用教材の作成)
- (3) 研修講師の手配・派遣
- (4) 研修の実施(講義、ワークショップ、ハンズオン形式を含む)
- (5) セキユアなA Iプラットフォーム(L G W A N環境内)の提案
(環境構築に係る専用サーバー等のハードウェアの調達・設置は本市で行う。)
- (6) 業務効率化の実現に向けた、A IやR P A等の技術検証・導入支援
- (7) 報告書の作成(研修アンケート集計、A IやR P A等の技術検証・導入支援結果を含む)

(8) 上記内容に関する打ち合わせ、連絡、調整等の付随する作業

(A I プラットフォーム構築に係る専用サーバー等のハードウェアの調達・設置については、本市で行うものとする。)

6 研修内容必須事項

- 講義と演習（ハンズオン）を効果的に組み入れ、受講者が自らA I ツールやR P A等の開発・運用を内製で行えるよう実践的な内容とすること。
- 生成A I の活用にあたっては、個人情報保護および情報セキュリティに配慮した適切なプロンプトエンジニアリングやガバナンスについて必ず含めること。
- 議会答弁ドラフト作成やチャットボット構築など、具体的な自治体実務に即したケーススタディを取り入れること。
- 研修で使用するパソコン約 20 台を用意すること。(必要なソフトウェアのインストール、ツールのアカウント発行・設定を含む)

7 講師にかかる要件

- 生成A I (大規模言語モデル)、A I コーディング支援ツールを活用したアプリケーション開発(A I 駆動開発等)、R P A、ノーコードツールに関し、専門的な知見と地方公共団体等における導入・指導実績を有すること。
- L G W A N (総合行政ネットワーク) 環境下でのシステム制約を理解し、セキュアな環境構築に対する助言ができること。

8 その他

- (1) 本業務に関する経費(資料作成代、会場借上料、旅費等)は受託者において負担するものとする。
- (2) 研修で使用するテキスト、資料、プロトタイプ成果物等は受託者において作成するものとし、事前に八戸市の確認・承認を得ること。
- (3) 本業務を通じて作成された資料やプログラム等の知的財産権は、原則として八戸市に帰属し、市が他自治体への展開等を目的としてオープンソース化するにあたり、受託者は著作権者人格権を行使しないこと。
- (4) 本仕様書において定めのない事項や疑義が生じたときは、受託者及び八戸市で協議して決定する。